

令和4年度 三潁郡大木町立大木中学校グランドデザイン（学校運営構想図）

学校教育目標：「確かな学力と豊かな心をもち、21世紀をたくましく生き抜く生徒を育成する」

重点目標：「伝え合い、学び合い、高め合う生徒の育成」

豊かな人間性

- 行動目標「元気で爽やかなあいさつ、美しい環境、思いやりの心」
- 生命尊重の精神を育成する ○人権尊重の精神を育成する
 - 道徳授業の充実を図り、よりよい生き方の追求を図る
 - 生徒同士の関わり・心のふれあいを大切に体験活動の推進を図る
 - 一人一人の社会的・職業的自立に向け、発達段階に応じたキャリア教育の推進を図る

健康・体力

- 行動目標「基本的な生活習慣を確立し、生活のリズムを整える」
- 基本的な生活習慣の確立に向けた指導と援助を行う
 - 食事についての正しい知識等について身に付けられるよう指導と援助を行う（保健指導と給食指導）
 - 生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する基礎を築く
 - 情報モラル、薬物乱用、暴力団排除教育、保護者と学ぶ規範意識育成事業などとの連携を図る

資質・能力の育成

何ができるようになるか ○学校教育の基本

- 基本的な各教科の基礎・基本を身に付け、学習したことや体験したことを生かして学ぶことができる
- 多様な考えを認め合い、主体的に判断し、協働的に学び、課題を解決することができる
- 自ら学ぶ力や、他の人との関係を通じて、社会的な力を育む

何が身に付いたか ○学校評価を通じた学習指導の改善

- 学習したことや体験したことと学習活動等とを比べたり、つなげたりして学んだことのよさを実感している
- 自分の考えをもち、学び合うことを通じて自分の考えを広げたり、深めたりしている
- 自らの夢の実現に向け努力し、他者と協力し合いながらよりよい関係を築き上げ、集団生活の向上に寄与している

生徒の実態

- 授業に真面目に取り組み、学び合いの学習を楽しんでいる
- 規律ある学校生活ができ、あいさつを心がけ、時間を守り、清掃など係活動に熱心に取り組むことができる
- ▲学習への目的意識や意欲に差があり、受け身の生徒が多い
- ▲人間関係がうまく作れず、自尊感情や向上心に乏しい
- ▲将来の夢や目標がもてなくなっている

生徒の発達をどのように支援するか ○配慮を必要とする生徒への指導

- 個に応じたきめ細やかな指導の推進を図る
・支援員やスクールカウンセラー、通級指導員等と連携し、一人一人の教育的ニーズを把握し、支援を行う
- チーム対応「全員で指導に当たる」
・職員間での情報共有及び共通実践、外部機関との連携により、チームで支援を行う

めざす生徒像

- 自ら課題をつかみ、進んで学習し、確かな学力を身に付けた生徒
- 広い心や思いやりの心をもち、友を助け、励まし合える生徒
- 自ら考え、判断し、自分に厳しく、言動に責任がもてる生徒
- 自分の良さを自覚し、将来の展望に立って自己実現を目指すたくましい生徒

何を学ぶか ○教育課程の編成

- 学校教育目標、重点目標達成に向けた編成・実施・評価を行う
- 社会に開かれた教育課程の推進と実施を行う
- 基礎的・基本的な知識や技能を習得の徹底と自分の考えをもち、そのことを自分のことばで表現することに重点を置き、学んだことをさらにどう活用できるかを意識した授業展開と各教科での年間指導計画の作成を行う
- 発達段階に応じた体験的な学習活動の推進を図る

どのように学ぶか ○教育課程の実施

- 問題解決的な学習の展開による授業づくりを行う
- ICTの活用による分かりやすい授業の推進とタブレット活用による個別の指導や支援を行う
- 話し合い（交流）活動を基盤とした学習活動を行う
- 各教科の年間指導計画に各教科で育てたい生徒像を明設定し、そのための手立てについて明記し、各教科での実践と評価を行う

実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 学校教育研究及び校内研修の充実
- 迅速かつ適切な初期対応及びチーム対応
- いじめ、不登校を生まない学年・学級経営
- 機動力ある校務分掌体制
- ICT機器の環境整備とICT支援員の配置
- 学習支援員、特別支援教育支援員等の配置
- 生徒指導・教育相談を核としたSC（スクールカウンセラー）、SSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）、SV（スーパー・バイザー）、SS（スクール・サポーター）、子ども未来課、児童相談所等との連携
- 家庭・地域との情報共有及び連携・協働
- 学びの連続性を意識した幼小中の接続連携
- 生徒と向き合う時間の確保（働き方改革の推進）

安心・安全を守る

- 教育委活動全般における安全対策と定期的な点検活動の実施（毎月1日）
- 自分の命は自分で守る生徒の育成（安全教育・防災教育・情報モラル教育）
- 認め合い、安心して過ごせる教室・学校づくり（人権・同和教育、道徳教育）
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底
- 学校いじめ防止基本法及び危機管理マニュアルの徹底

開かれた学校づくり

- 地域の「ひと・もの・こと」を生かした学校づくり
- 学校・学年だより等による積極的な情報発信
- 安心・安全メールによる緊急時の連絡体制
- 授業参観、家庭訪問、三者面談、保護者会、土曜授業、公開授業の実施
- 関係諸機関との連携と学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の実施